

## 1. 安全対策研修会について

本学歯学部附属病院では、「病院のこころざし」に「安全で質の高い歯科医療」を第一に掲げております。

本院では医療安全に関する様々な活動を行っており、定期的に全職員を対象として、基本的心肺蘇生法に関する研修会を行っています。

### 心肺蘇生訓練用人形を用いた実習



まずは一人で  
(胸骨圧迫)



次にチームで  
(自動体外式除細動器 (AED) を用いて)

## ～いのちを守るために大切なこと～

あなたの目の前で、倒れた人がいたらどうしますか？

勇気をもって、基本的心肺蘇生法をいち早く始めることが求められます。ではその方法をご存知ですか？

本院の受講者と同じ設問をいくつか用意しましたので、「はい」または「いいえ」で回答してみてください。（解答は下記参照）

### 設問

1. 周囲の状況を確認し、患者の意識・反応がなければ直ちに、大声で人を集め、緊急通報および自動体外式除細動器（AED）を手配する。
2. 胸骨圧迫（成人）の深さは5cm以上が望ましい。
3. 胸骨圧迫は毎分100回以上の速さで行うことが望ましい。
4. AEDによる心電図解析および放電時には傷病者から離れる必要がある。
5. AEDの指示どおりに放電ボタンを押した。直ちにすべきことは脈拍の確認である。

いかがでしょうか？

本院では患者さんの診療を担当する歯科医師や歯科衛生士などの医療専門の職員だけでなく、事務職員など全ての職種の職員が安全研修に参加しています。

安全第一。いままでも、これからも。

### 解答

1. はい、2. はい、3. はい、4. はい、
5. いいえ（直ちにすべきことは胸骨圧迫です。）

## 2. 診療科紹介～快眠歯科(いびき無呼吸)外来～

睡眠時無呼吸症候群といびきに対し、マウスピースによる治療を行います。

睡眠時無呼吸症候群は日中の強い眠気や、集中力の欠如による仕事の能率低下、車の運転事故など社会生活に支障を来すばかりでなく、高血圧、不整脈、心筋梗塞、脳血管障害、糖尿病などにかかりやすくなることが知られています。

マウスピースを装着することで、下あごを前方に突き出すように工夫されており、睡眠中の気道を広げ、いびきや呼吸が止まるのを防止します。



ご自分のいびき、睡眠が気になる方は、健康維持のためにもお早めにご相談ください。

快眠歯科(いびき無呼吸)外来診療科長 秀島 雅之

当外来で治療を受けるには、事前に医科系医療機関での睡眠検査、睡眠時無呼吸症候群の診断が必要です。また、初診受付は月曜日と金曜日の9～11時となります。受診前に必ず電話予約を行ってください。(電話03-5803-4955)

### 3. 病院案内 ～診療科等電話番号案内～

階	診療科名	電話番号	診療科名	電話番号
8	歯科病棟			5739
7	インプラント外来	5773	歯科麻酔外来	5761
6	口腔外科外来	5738	顎義歯外来	5720
	顎顔面外科外来	5742	言語治療外来	4752
	検査部	5715		
5	むし歯外来	5736	歯周病外来	5736
4	歯科心身医療外来※	5898	第1総合診療室	5729
	顎関節治療部	5961	第2総合診療室	5732
	快眠歯科(いびき無呼吸)外来(月・金)※	4955		
3	義歯外来	5744	歯科アレルギー外来(月・水13時～・木)※	5746
	クリーンルーム歯科外来	5748	スポーツ歯科外来(火・水AM・金)※	4891
2	矯正歯科外来	5752	ペインクリニック	5762
	小児歯科外来	5756	口腔ケア外来	4552
1	歯科総合診療部	5766	スペシャルケア外来(診療室1)	5750
	息さわやか外来(月・木)※	4559	スペシャルケア外来(診療室2)	5727
	摂食リハビリテーション外来※	5750	薬剤部	5712
	業務課患者掛	5430	業務課収入掛	5431
B1	歯科放射線外来(レントゲン、CT、MRI)			5759

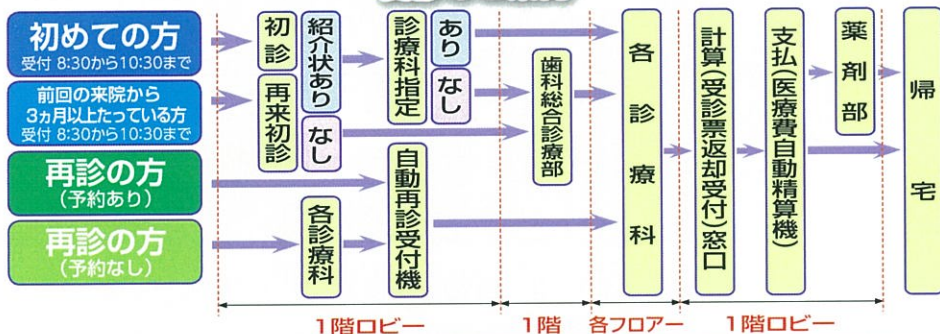
※事前に電話予約が必要な診療科です。快眠歯科(いびき無呼吸)外来は、事前に医科系医療機関の診断と紹介が必要であり、紹介のない場合は受診できません。

◎電話03-5803-上記電話番号(ダイヤルイン)で各診療科等に連絡できます。

◎受付時間 初診/8:30～10:30 再診/8:30～15:30

◎休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

#### 受診のご案内



当院各専門外来では、各分野の専門的な治療を希望される患者さんが多く来院されます。そのため、初診で来院された場合は、担当医が決まり、治療が始まるまで一定期間お待ち頂く場合があります。

職員一同、安全・安心の医療を提供できるよう努力しておりますので、患者の皆様にはどうかご理解、ご協力頂けますようお願い致します。